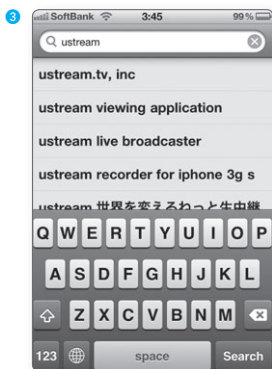
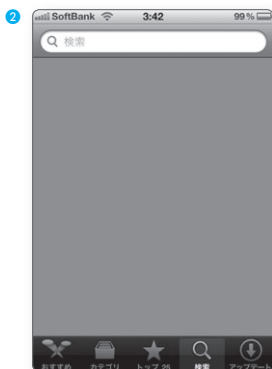


## いますぐiPhoneでUstreamしてみよう

本書のテーマはiPhoneを利用したUstreamの番組配信です。パソコンやカメラなどの機材を用意することなく、いかに手軽に番組の配信ができるか、そして番組を配信することの面白さや楽しさに気づいてもらうことが目的です。というわけで、何はともあれ、iPhoneさえあれば簡単にUstreamから番組を配信することができることを紹介していきましょう。すでにiPhoneを手に入れている人なら、いますぐに始めることができます。さあ、準備はいいですか？

### 配信アプリをインストールしよう

iPhoneでUstreamから番組を配信するには、まずApple社のApp StoreからUstream Live Broadcasterという専用のアプリケーション(無料)をダウンロードし、インストールする必要があります。



1 iPhoneにインストールされている「App Store」アイコンをタップします。

2 画面下部の「検索」をタップします。

3 画面上部の検索欄をタップし、表示されるキーボードから「ustream」と入力して「Search」キーをタップします。

4 「ustream」という語が含まれているアプリケーションの一覧が表示されるので、「Ustream Live Broadcaster」をタップして選択します。

5 画面右上の「無料」ボタンをタップすると表示が「インストール」に変わります。



⑥ 「インストール」ボタンをタップするとiTunesを利用するためのパスワードを要求するダイアログが表示されます。iTunesに登録したパスワードを入力して「OK」ボタンをタップします。

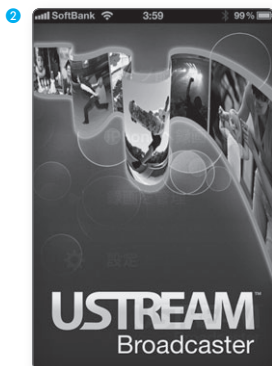
⑦ iPhone上にUstream Live Broadcasterのアイコンが表示され、アプリケーションのダウンロード、引き続きインストールが始まります。

## COLUMN iTunes Storeのアカウントを取得する

iTunes Storeを利用したことがない人は、先にアカウントを取得しておく必要があります。Ustream Live Broadcasterの「インストール」をタップしたあと、表示される「新規アカウントの作成」をタップして、指示にしたがって必要項目を登録します。なお、無料のアプリケーションをインストールする際には、クレジットカードやiTunesカードを用意しなくても新規アカウントを作成できます。

## Ustream Live Broadcasterの起動とアカウントの作成

Ustream Live Broadcasterがインストールできたら、さっそく起動してUstreamのアカウントを取得します。



① インストールが完了すると、Ustream Live Broadcasterのアイコンが表示されるので、アイコンをタップしてアプリケーションを起動します。

② Ustream Live Broadcasterが起動するとタイトル画面が表示されます。

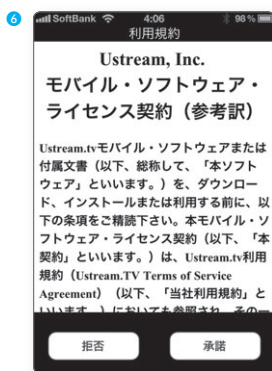


3 メニュー画面が表示されるので、「ライブ配信」ボタンをタップします。

4 「ログイン」画面が表示されます。はじめてUstreamを利用する場合は、「アカウント作成」ボタンをタップします。

5 ユーザ名、パスワード、メールアドレス、生年月日の各項目に情報を入力し、「Ustreamアカウント作成」ボタンをタップします。

6 Ustream, Inc. モバイル・ソフトウェア・ライセンス契約が表示されます。内容を読んで、「承認」をタップします。

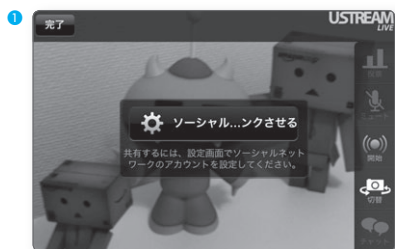


## COLUMN 番組名はアカウント名となる

Ustream Live Broadcasterを利用してアカウントを作成すると、自動的にアカウントと同じ名前で番組が作成されます。したがって何の変更も加えない限り、番組名=アカウント名となります。これを変更したり、別途新しい番組を作成するときの方法はChapter 4で説明します。

## ライブ配信を開始しよう

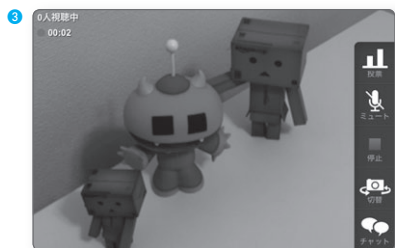
さてこれで準備完了です！ Twitterとの連携などの詳細設定については後の章で詳しく解説しますので、まずは番組を配信してみましょう。



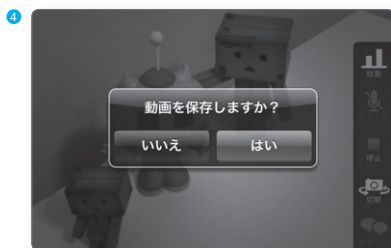
1 「ライセンス契約」に承認すると、カメラからの映像が表示されます。これでライブ配信の準備は完了しました。



2 画面の右側にある緑の「開始」ボタンをタップすることによって、ライブ配信が開始されます。ライブ配信中は、視聴者数と録画時間が表示されます。

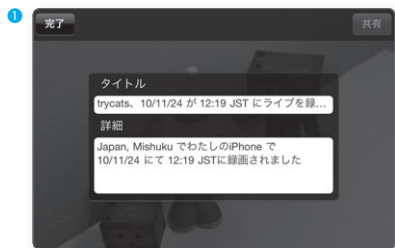


3 ライブ配信を終了するには、画面をタップして表示されるメニューから「停止」ボタンをタップします。



4 ライブ配信した内容を Ustream のサーバに保存することができます。保存する場合は「はい」をタップします。

## 配信した動画を保存する



1 保存が選択されると番組の「タイトル」と「詳細」のダイアログが表示されます。それぞれの項目にはあらかじめ内容が入力されていますが、もちろん自分で編集することができます。



2 内容の編集を行わずに終了する場合は、画面左上の「完了」ボタンをタップします。編集を行う場合は、いずれかの項目の入力欄をタップして、編集モードに入ります。



③ ライブ配信を終了する場合は、画面左上の「完了」ボタンをタップします。

いかがですか？ これですべて Ustream デビューを果たしたというわけです。

ちょっとした設定を行うだけで、ビックリするほど簡単にライブ配信可能となる Ustream。この章では触れていませんが、ソーシャルコミュニケーションサービスとして広く利用されている Twitter や Facebook などのソーシャルストリームとの連携を含め、Ustream には盛りだくさんの機能が楽しめ方が用意されています。その辺りは後の章でじっくり解説しますので、お楽しみに！

## COLUMN 配信状況は視聴者に確認してもらおう

Ustream はインターネットを利用して番組を配信するので、利用者の回線速度やパソコン性能に大きく依存して、誰もが同じ状態で視聴できているわけではありません。配信者自身でモニターしていたとしても、異なる環境での視聴者からの意見は大切です。

そこで、ライブ配信を開始した段階でまず行うとよいのが、視聴者に視聴状況を聞くことです。「音は割れていませんか？」「音量はどうでしょう？」「映像はなめらかに見えていますか？」といった具合です。視聴者からは、「音、大丈夫です」「ボリュームを目一杯上げていますが、それでも聞こえにくいです」「映像がカクカクして見にくいです」といったフィードバックがソーシャルストリームを通じて返ってくることでしょう。

それをもとに見やすい配信をめざして調整します。パソコンでの配信ではハードやソフトで見直す項目がいくつもありますが、iPhone の場合、設定はほぼ自動なので、自分が移動して音声や電波の状態のいい場所を探すようにしましょう。Wi-Fi を利用した配信であれば「画質」の変更 (P.59) ができます。なお、ライブ配信された映像が視聴者側に届くまでに、少なくとも数秒の時間がかかり、さらに視聴者からの反応に時間がかかるので、それを考慮して調整を行いましょう。

大切な番組なら事前にテスト配信を行なって、友人や知人などに (あるいは Twitter 上で呼びかけた人に) 視聴してもらい、万全の状態でご配信を迎えることがベストです。でも実際はぶつつけ本番という番組も多く、その気軽さが Ustream のよいところでもあります。

このようなお互いのやりとりこそ、相互コミュニケーションのきっかけ作りになるよいチャンス。一気に打ち解け合うことと間違いなしです。視聴者と番組を作っていくという一体感も Ustream の魅力のひとつです。